

株主通信 第57期中間期

平成21年4月1日～平成21年9月30日

目次

経営トップメッセージ	特集	商品紹介	トピックス	財務情報
1-3P	4P	5-6P	7-8P	9-10P



「お米」のおいしさ創造企業——
岩塚製菓株式会社

「お米」のさらなる可能性を目指して

「お米」のおいしさを創造する企業

平成19年に創業60周年を迎え掲げた中期ビジョン「-NEXT60-「お米」のおいしさ創造企業～米・技・心の継承と進化～」。

私たちは「米食文化の創造と発信」をテーマにした米文化フォーラムとそれに基づく商品展開をビジネスモデルとして、次なる60年に向けて歩み続けています。

私たちの夢は、おいしさでNo.1でありたい、新鮮さでNo.1でありたい、おいしさにこだわる私たち自身がNo.1でありたい、そして世界中の人々においしさの笑顔をお届けすることです。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第57期(平成22年3月期)中間期までの業績につきましてご報告申し上げます。

当期は、専任スタッフによる「プロジェクトV」を立ち上げ、収益構造の抜本的改革を行うための戦略を策定いたしました。第1四半期につきましては、前期の価格改定の影響もあり、売上げが落ち込む結果となりました。しかしながら、第2四半期一特に、8月以降につきましては、製造ラインや商品の見直しによるコスト削減効果や品質にこだわりながらも買いやすい値頃感のある商品の開発、そして、主力商品を中心とした積極的な販売促進策を実施した結果、シェア回復の兆しが見えてまいりました。

依然として厳しい経済環境ではありますが、減収でも減益にならない体質への改善を目指し、NPS研究会を通じたIPSの実践に、誇りと勇気をもって挑戦してまいりますので、株主の皆様におかれましても、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

「市場創造の岩塚」として
マーケティング機能の強化による
シェアの拡大を目指します。

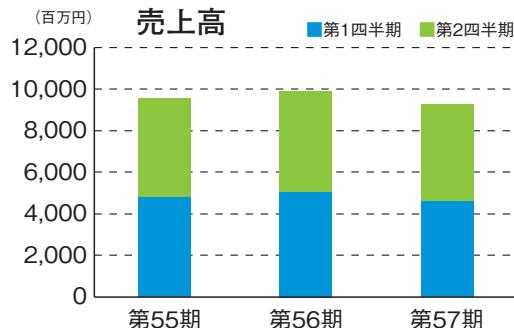
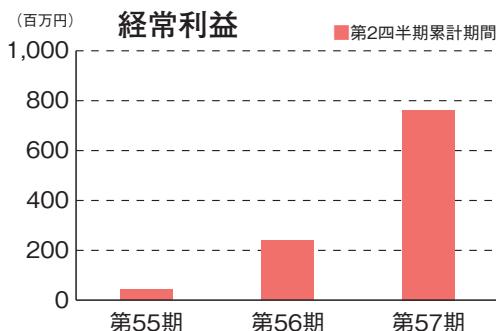


代表取締役社長
榎 春夫

積極的な販売促進策を実施します

上位メーカーによるシェア争いと価格競争が激化するなか、設備投資により製造コストの削減に取り組むとともに、8月より主力商品を中心に、積極的な販売促進策を実施し、シェアの回復に向けて取り組んでまいりました。その結果、第2四半期連結累計期間の売上高は、92億65百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。利益面につきましては、営業損失3億66百万円（前年同四半期は3億69百万円の営業損失）、経常利益7億62百万円（前年同四半期比220.0%増）、四半期純利益は2億91百万円（前年同四半期比64.5%減）となりました。

なお、当社の海外戦略として株式を保有しているWant Want China Holdings Limitedからの株式配当金11億円を、営業外収益の受取配当金で計上しております。



米菓業界におきましても、消費者の低価格志向・節約志向などの生活防衛意識は続くものと予想されます。また、上位企業によるシェア争いは、今後も続いてまいります。このような環境下、販売価格・市場価格はより一層低下していくものと予想されます。

当社では、品質を落とさず値ごろ感のある商品を投入し、売上げの拡大を図るとともに、積極的な販売促進策を実施することにより、シェア10%の回復に注力してまいります。

「つくる人」「たべる人」をつなぎます。
里山元気ファーム

<http://www.satoyama-genki.jp/>



はじめまして。

6月17日、新しい子会社「里山元気ファーム株式会社」を設立しました。昨年7月に発表した「米文化フォーラム構想」では、新しいお米のおいしさの提供に向けた研究や、お米との新たな接点づくりに取り組んできました。その一環として、地元・長岡(越路地域)の自然や地域の人たちとともに元気になることを目指し、お米やお米から生まれるさまざまな事業の可能性を探るため、里山元気ファームは誕生しました。岩塚直売店、中沢直売店、WEB直売店にて、農産物や農産加工品を販売しています。



里山元気ファームは、単に農場を指すのではなくつくる人とたべる人が行き交う、社交(縁)の場所です。



安心・安全な米を中心に、農産物をつくる人、それを加工する人、それを食する人、みんなが元気になる場所です。

生活者の想い

生活者



安心してたべられる

生産者の想い

生産者



安心してつくれる



越後 長岡

創業の原点であるこの地に再び目を向け、もう一度長岡に住む人たちと何かできないものか。このことを問い続けるなかで、食べ物のうしろには必ずつくる人がいて、それを支える家族がいて、何より豊かな自然環境があることにあらためて気づきました。今、私たちは越後・長岡の「食べ物のうしろにあるもの」を伝えながら、つくる人とたべる人が行き交う市場=縁を大切に作る場をつくりたいと思います。ロゴマークの太陽を連想させる『丸』は、人と人をつなぐいくつもの縁がエネルギー(元気)をつくりだすことをあらわしています。また、そこから生まれた『芽』は、私たちを支える食べ物の芽と未来へつながる芽をあらわしています。



里山元気ファーム株式会社
 代表取締役社長
 阿部 雅栄



いつも
「ありがとう」
プレゼントキャンペーン

応募締切

2010年3月1日(月)

対象商品



Aコース



図書カード 2000円

各
500
名様

計 1000 名様

Bコース



新潟コシヒカリ 5kg

- 対象商品 / 10枚岩塚の黒豆せんべい、36枚味しらべ
120g 新潟ひとつまみ海老黒胡椒、120g新潟ひとつまみ柚子こしょう
- 応募方法 / 専用応募ハガキまたは郵便ハガキに対象商品外袋裏面にあるバーコード1枚を貼り、
①郵便番号②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤ご希望のコース
をご記入の上、下記宛先までご応募ください。
- 応募宛先 / 〒949-5414
新潟県長岡市飯塚2958番地 R & D・Mセンター
岩塚製菓株式会社「いつもありがとうプレゼントキャンペーン」係
- 応募締切 / 平成22年3月1日(月) 当日消印有効
- 当選発表 / 厳正な抽選の上、当選品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、当選品発送のみに利用させていただきます。お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはございません。
※キャンペーン終了後にもキャンペーン告知の印刷されている商品が販売されている場合がございますが、ご容赦願います。
※当キャンペーンのご当選者様は同時期に実施している同一商品を対象とした他のキャンペーンと重複してご当選できませんので予めご了承ください。

人気商品をお手軽に

1回の開封ですべて食べることができる、値ごろ感のある商品として、食べきり米菓を発売しました。

「おせんべいは買いたいけど、一度にこんなに食べきれない」というお客様の声にお応えし、商品設計されました。これからもお客様の志向に合わせた商品づくりをしてまいります。

食べきり米菓

品質を落とさずに値ごろ感を



味しらべ
36枚



味しらべ
68g



おつまみあられ
うま塩えだ豆
113g



おつまみあられ
うま塩えだ豆
45g



ふわつとやわらか
えび味
52g



ふわつとやわらか
えび味
32g



ふわつと
えびマヨネーズ味
52g



ふわつと
えびマヨネーズ味
32g

食べやすい大きさ(直径6cm以内)に改良をした「厚焼き海苔しょうゆ」「あまからサラダ」「あまからしょうゆ」で、購買層の拡大を狙います。



できたてのおいしさをお客様に

店頭で「ふわつと」を揚げ、お客様にできたてのおいしさを味わっていただくために開発された揚げせんべいの移動式デモンストレーション機「揚げたてちゃん」は、全国各地で活躍しています。



五感で知ろう！ お米のおいしさと米加工品

品川女子学院中等部2年生の前で、出張授業

品川女子学院（東京都）にて、200名余りの中等部2年生を対象に、出張授業「五感で知ろう！お米のおいしさと米加工品」を開催しました。品川女子学院が掲げる28プロジェクトの一環として、また、食育の一環として、現在の2年生が3年生を終了するまでの2年間、授業を行います。



品川女子学院中等部2年生、岩塚の工場見学

本年7月23日、出張授業を受けた品川女子学院中等部2年生が夏季宿泊行事の一環として、当社の飯塚工場とR&D・Mセンターを見学しました。

昼食は、地元の野菜を使った田舎風弁当と里山元気ファームの棚田米を使ったおにぎりや朝採り野菜を提供しました。



当社は、地元・長岡市（越路地域）の小学校3年生と5年生の社会科見学を、長年に渡り受け入れています。身近にある工場の見学を通じて、子どもたちに地域産業の仕組みを理解していただくことで、豊かな人間づくりの形成に寄与したいと考えております。今後も、「社会の人々に喜びと豊かさを提供する」「地域社会の経済的発展に貢献する」という当社の経営理念のもと、次世代を担う子供たちの育成に努めてまいります。

社会の人々の喜びと 地域社会の経済的发展に貢献します

田んぼオーナー体験

米菓メーカーとして基本となる「米」について、お客様に知っていただきたいという考えのもと、県内外の親子が地元農家の方に指導いただきながら、「田植え」や「稲刈り」を体験しました。食育が見直されている今、当社では「お米」を通して、食文化を伝える取り組みを地域の方たちとともに実施しています。



クリーン作戦

当社は、環境活動の一環として、毎月、本社の「ノー残業デー&クリーン作戦」を実施しています。本社周辺のゴミ拾いを通じて、「地域社会の発展」を掲げる経営理念を達成すべく取り組んでいます。



輝き☆味来フェスタ

本年9月27日、日頃のご愛顧に感謝して、子会社の新潟味のれん本舗が、「輝き☆味来フェスタ」を開催しました。当日は、保育園児たちの可愛い悠久太鼓をはじめ、「しあわせ市」では、チャリティーバザーや似顔絵なども行われました。1日の総入場者数12,000人の地域の皆様に楽しんでいただきました。



古着バザー

当社従業員より古着を集め、チャリティーバザーを実施しました。約500着のうち、およそ250着を販売し、売上金と寄付金の合計51,284円を、全額「緑の募金」へ寄付し、環境保護活動に役立てていただきました。



連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前連結会計年度末 平成21年9月31日現在
（資産の部）		
流動資産	5,245,373	3,886,277 ①
固定資産	41,444,686	36,733,082 ②
有形固定資産	7,184,765	7,157,462
無形固定資産	59,438	61,388
投資その他の資産	34,200,482	29,514,231
資産合計	46,690,060	40,619,360
（負債の部）		
流動負債	6,392,536	5,351,044 ③
固定負債	12,100,971	10,080,710 ④
負債合計	18,493,507	15,431,755
（純資産の部）		
株主資本	9,167,540	8,950,988
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	6,038,956	5,822,273
自己株式	△ 365,416	△ 365,284
評価・換算差額等	19,005,415	16,211,469
その他有価証券評価差額金	19,022,154	16,234,358
為替換算調整勘定	△ 16,739	△ 22,888
少数株主持分	23,596	25,147
純資産合計	28,196,552	25,187,605 ⑤
負債純資産合計	46,690,060	40,619,360

①流動資産

短期貸付金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して13億59百万円の増加となりました。

②固定資産

投資有価証券が時価評価により増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して47億11百万円の増加となりました。

③流動負債

短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して10億41百万円の増加となりました。

④固定負債

投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して20億20百万円の増加となりました。

⑤純資産合計

その他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して30億8百万円の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	888,488 ⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,486,271 ⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	427,388 ⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,826
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 173,220
現金及び現金同等物の期首残高	546,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	373,224

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

	当第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	9,265,804	9,910,550
売上原価	6,237,072	6,742,023
売上総利益	3,028,732	3,168,526
販売費及び一般管理費	3,395,040	3,538,218
営業損失(△)	△ 366,308	△ 369,691
営業外収益	1,157,870	653,086
営業外費用	29,032	45,083
経常利益	762,528	238,311
特別利益	35	1,190,075
特別損失	6,963	2,609
税金等調整前四半期純利益	755,601	1,425,776
法人税、住民税及び事業税	385,122	463,533
法人税等調整額	81,830	143,442
少数株主損失(△)	△ 3,129	△ 2,575
四半期純利益	291,778	821,376

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益を反映したこと等により、8億88百万円の収入（前年同四半期は10億38百万円の支出）となりました。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

貸付けによる支出等により、14億86百万円の支出（前年同四半期は9億38百万円の収入）となりました。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増額等により、4億27百万円の獲得（前年同四半期は2億1百万円の使用）となりました。



会社の概要

(平成21年9月30日現在)

商号	岩塚製菓株式会社
英文名称	IWATSUKA CONFECTIONERY CO., LTD.
代表取締役社長	横 春夫
主要な事業内容	米菓の製造販売
本社所在地	新潟県長岡市浦9750番地
設立	昭和29年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	803名 他に、準社員・嘱託及びパートタイマーが162名おります。
主要な事業所	本社、R&D・Mセンター 工場：飯塚、沢下条（第一・第二・第三・第四）、中沢、千歳、長岡 支店：札幌営業課・広域・仙台・新潟・東京東・東京西・名古屋・大阪・西日本

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
配当基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	毎年9月30日(中間配当を行う場合) 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	証券会社に口座をお持ちの場合 特別口座の場合 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
(お取扱店)	お取引の証券会社となります。 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324(フリーダイヤル)
(ご注意)	未払配当金の支払い、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問い合わせ先をご利用ください。 単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は、みずほ信託銀行株式会社まで至急ご連絡ください。
上場取引所	ジャスダック証券取引所
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.iwatsukaseika.co.jp/

取締役及び監査役

(平成21年9月30日現在)

代表取締役社長	横 春夫	常勤監査役	関 春夫
取締役	中 静	監査役	平 石
取締役	丹 羽	監査役	佐 野
取締役	郷 文	監査役	野 榮
取締役	大 矢	監査役	日 出
取締役	小 林		

子会社・関連会社

(平成21年9月30日現在)

- 株式会社瑞花
- 株式会社新潟味のれん本舗
- 株式会社越後抄
- 里山元気ファーム株式会社 (平成21年6月17日設立)
- 瀧陽岩旺米粉製造有限公司
- 旺旺・ジャパン株式会社

株式データ

(平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,980,000株
発行済株式の総数	5,995,000株
株主数	4,470名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(株)
株式会社紀文食品	305,000
岩塚製菓共栄会	304,000
株式会社北越銀行	280,000
平 石 毅 一	264,346
UBS AG SINGAPORE	237,000
横 政 男	235,805
株式会社第四銀行	200,000
岩塚製菓従業員持株会	165,900
横 キ ク	162,619
株式会社魚沼運輸	115,000

(注) 上記「大株主(上位10名)」には、当社所有の自己株式218,529株を含めておりません。

株主優待制度

当社では、日頃のご厚情に感謝し、当社株式を100株以上お持ちの株主様に当社製品を贈呈いたします。9月30日現在の株主様には12月に、3月31日現在の株主様には6月に発送いたします。

100株以上の株主様
1,000円相当

500株以上の株主様
2,000円相当

1,000株以上の株主様
5,000円相当

*2,000株以上の株主様
5,000円相当

*2,000株以上お持ちの9月30日現在の株主様には翌年3月、3月31日現在の株主様には9月にも贈呈いたします。

なお、基準日以降に住所変更のお手続きをされた方は、ご優待品が届かない場合がございますので、予め当社までご連絡ください。

岩塚製菓株式会社 管理部総務課 〒949-5492 新潟県長岡市浦9750番地
Tel: 0258-92-4111 Fax: 0258-92-6060 <http://www.iwatsukaseika.co.jp/form.html>



イメージ写真

